

東洋機械金属 (6210) アウトパフォーム (継続)

18/3 期は中大型射出機とダイガストマシン寄与で大幅増益へ

株価 646 円 (4/27) 時価総額 134 億円 (4/27) 発行済株 20,703 千株 (4/27)

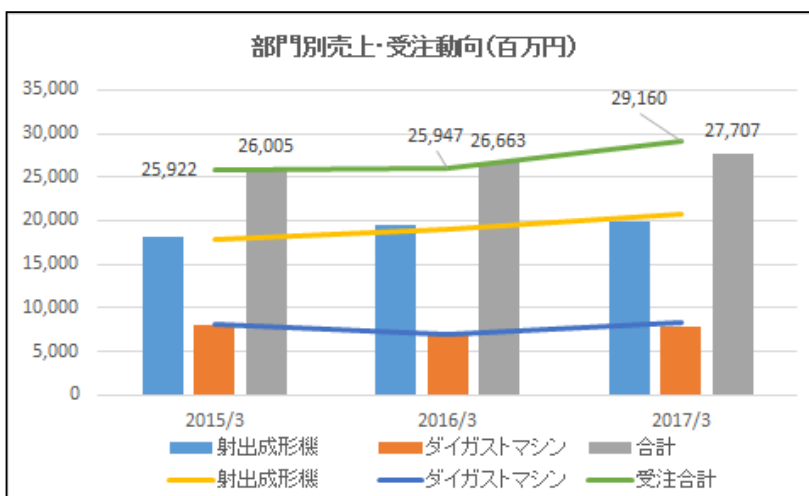
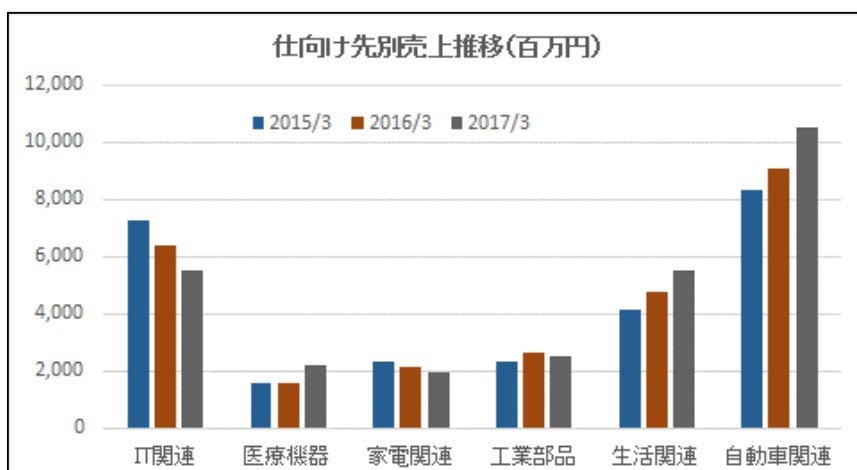
PER (18/3DO : 7.1X) PBR (0.72X) 配当 25 円 配当利回り : 3.87%

要約

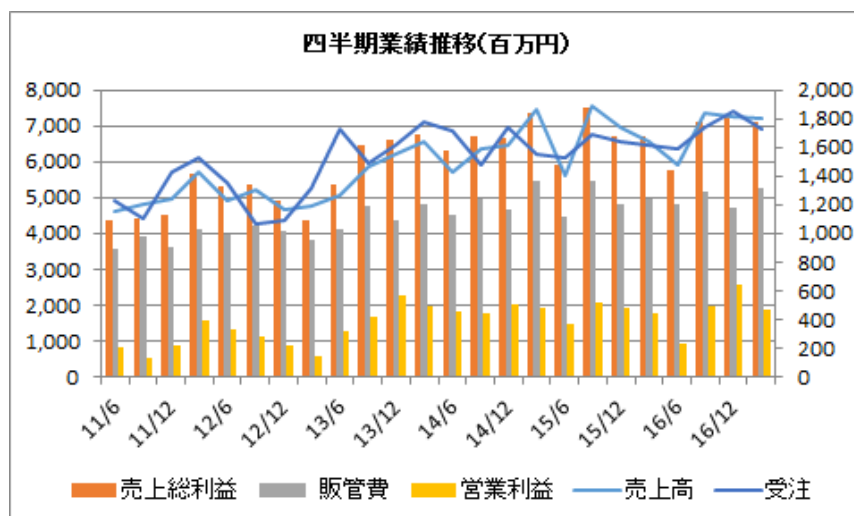
- ・ 17/3 期は自動車関連と生活関連が好調で IT の不振を補い 3.9%増収、1.3%営業増益
- ・ 18/3 期は中大型射出機の増産設備寄与とダイガストマシンの伸びで大幅増収増益期待
- ・ 株価は同社の強みを反映せず割安に放置、PBR1 倍の 786 円目標、中期的には 1680 円

17/3 期は自動車関連と生活関連が好調で IT の不振を補い 3.9%増収、1.3%営業増益

4月26日に17/3期業績を発表、27日に決算説明会が開催された。17/3期は売上高277.07億円(3.9%増)、営業利益18.23億円(同1.3%増)、経常利益18.22億円(0.5%増)、税引利益15.05億円(19.2%減)となった。売上面では射出成形機が国内、北米自動車向けと国内・欧州の生活用品関連の中・大型機が伸び、IT・電子機器関連向けの小型機の落込みをカバーし1.9%増収を確保。ダイガストマシンも自動車関連が全地域で好調に推移し、IT・電子機器関連向の大口



需要減を補い
9.3%増収を確保
した。なお受注
額は 12.4%増の
291.60 億円と売
上の伸びを上回
り、受注残高は
22.9 % 増の
77.86 億円とな
った。利益面で
は増収効果とコ
スト削減から営



業、経常微増益を確保、但し税引利益は繰り延べ税金資産計上に伴う法人税等調整額がなくなつた影響で 19.2%減益に。

18/3 期は中大型射出機の増産設備寄与とダイガストマシンの伸びで大幅増収増益期待

18/3 期会社予想は、受注高 310 億円 (6.3%増)、売上高 300 億円 (8.3%増)、営業利益 24 億円 (31.6%増)、経常利益 24 億円 (31.7%)、税引利益 15.6 億円 (3.6%増) となっている。収益性の向上はダイガストマシンの構成比アップ、射出成型機の中大型比率の向上が寄与する。ただし、中期経営計画に対し、売上高では計画並みも、円高影響があり、営業利益は中計比 6 億円未達予想としている。

売上面では懸案であったフレーム製缶工場が完成、2017 年 4 月より稼働し、全体として生産能力が 30%アップ、特に需要に追いつかない中大型射出成型機 (型締め 300 t ~ 999 t) の供給拡大が見込まれる。現状、射出成型機における中大型機比率は 30%程度であるが、能力アップで構成比率が上がれば利益率の向上につながるだけに、今期の収益率向上に大きく寄与する見通し。なお、小型射出成型機は従来の同社得意先である 3 大スマホ製造向けの受注が一巡しているものの、3 月には中国 IT 向けに大型受注を獲得、4 月も引き続き高水準な受注が継続している。今後、中国新興メーカーのスマホシェア拡大から新たな需要も見込まれ、射出機受注は会社予想を上回って推移、生産能力増強もあり、売上でも受注消化がスムーズになされ、会社予想を上回る収益が期待される。

ダイガストマシンは国内では需要が成熟しているものの、競合メーカーが国内 4 社程度と少なく、収益性は安定している。世界的には、自動車の軽量化が環境対応の切り札として期待され、中国でも軽量で安価なアルミ部材への本格的な需要拡大が見込まれ、日系、欧米系進出企業向けにダイガストマシンのニーズが引き続き拡大しよう。なお、ハイブリッド、完全電動ダイガストの本格普及は時間を要し、実売は限定的なものにとどまろう。

全体として 18/3 期は自動車向け射出成形機、ダイガストマシンの需要の拡大、また中大型射出成形機の能力増強効果がフル寄与、さらに提携関係にある日本製鋼所への部材供給が本格的に始まるなどから、会社予想を上回る収益が見込まれる。

株価は同社の強みを反映せず割安に放置、PBR1 倍の 786 円目標、中期的には 1680 円

4/27 の株価は 4/26 の 17/3 期決算発表を受け、18/3 期の大幅増益予想、17/3 期 2 円増配の 17 円、18/3 期 7 円増配の 25 円配などを背景に前日比 100 円ストップ高の 646 円となった。但しこの水準でも会社予想 EPS82.97 円に対し PER7.8 倍と、機械平均の 19.3 倍、小型株平均の 18.4 倍を大きく下回り割安状況にあり、当面、PBR1 倍の 786 円を目標とする。

また同社は、射出成形機において電動化でファナックと並んで先駆者であり、また国内生産台数トップを誇るアルミダイカストマシーンでも世界初の完全電動ダイガストマシンを開発するなど、高い技術力を持っている。現在、同社の技術力の高さを株価が反映していないと考え、18/3 期 DO 予想 EPS91.5 円に対して、小型株平均 PER18.4 倍の 1680 円を中期目標としたい。

東洋機械金属(6210)		(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増原	EPS	配当	
15/3期	26,006	9.8%	1,886	5.2%	1,997	-7.6%	1,631	-7.5%	79.1	10.00	
16/3期	26,664	2.5%	1,800	-4.5%	1,813	-9.2%	1,863	14.2%	92.3	15.00	
17/3期会社予想(期初)	27,500	5.7%	2,050	8.7%	2,050	2.6%	1,680	3.0%	89.4	15.00	
17/3期(7月修正予)	27,000	1.3%	1,830	1.7%	1,740	-4.0%	1,270	-31.8%	67.5	15.00	
17/3期	27,707	3.9%	1,823	1.3%	1,822	0.5%	1,505	-19.2%	80.1	17.00	
18/3会予	30,000	9.2%	2,400	31.6%	2,400	31.7%	1,560	3.6%	83.0	25.00	
18/3会社中計予想	30,000	8.3%	3,000	64.6%	3,000	64.7%	N.A	N.A	N.A	N.A	
18/3期DO予	31,500	13.7%	2,650	45.4%	2,650	45.4%	1,720	14.3%	91.5	27.00	
19/3期DO予	33,500	6.3%	2,900	9.4%	2,900	9.4%	1,900	10.5%	101.1	30.00	

売上	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3会社予	2018/3DO予	2019/3DO予
射出成形機	18,076	19,517	19,896	21,000	22,200	23,500
ダイガストマシン	7,929	7,146	7,811	9,000	9,300	10,000
合計	26,005	26,663	27,707	30,000	31,500	33,500
受注	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3会社予	2018/3DO予	2019/3DO予
射出成形機	17,884	18,947	20,849	21,700	23,000	23,700
ダイガストマシン	8,038	7,000	8,311	9,300	9,800	10,300
受注合計	25,922	25,947	29,160	31,000	32,500	34,000
受注残	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3会社予	2018/3DO予	2019/3DO予
射出成形機	4,857	4,287	5,240	5,940	6,040	6,240
ダイガストマシン	2,193	2,046	2,546	2,846	3,046	3,346
受注残合計	7,050	6,333	7,786	8,786	8,786	9,286

半期	14/9	15/3	15/9	16/3	16/9	17/3	17/9会予	18/3会予	17/9DO	18/3DO
売上高	12,085	13,921	13,171	13,493	13,275	14,432	14,500	15,500	15,500	16,000
営業利益	897	988	877	923	723	1,100	1,100	1,300	1,250	1,400
経常利益	878	1,120	918	896	645	1,177	1,100	1,300	1,250	1,400
親会社株主に帰属純利益	764	868	712	1,151	352	1,153	715	845	810	910
受注	12,768	13,154	12,898	13,049	13,352	14,355			16,000	16,500

TOYO MACHINERY & METAL Co., Ltd.

2017/4/27

